

かけはし

川崎市立向丘小学校
学校便り 10月号
R 8 . 9 . 30

日々是好日

校長 秋山 直子

朝晩は少しひんやりとする日が増えてきました。校内の木々も赤や黄色に色づき始め、秋の深まりを感じます。

先日、1年生の教室をのぞいたら、「生命の尊さ」をテーマにした道徳の授業が行われていました。教材文は「朝起きたらお腹がぐうぐう鳴ったこと」や「妹を抱きしめたらぬくぬくしてかわいかったこと」、「追いかけてをしたら心臓がどっくんどっくん鳴ったこと」など、日々の生活の中にある“生きている素晴らしさ”を綴ったものでした。大人になれば、こうした何気ない日常こそが「幸せ」であり、「生命の尊さ」そのものであることがわかりますが、1年生が言葉にするにはなかなか難しいテーマです。それでも、子どもたちは、友達や担任とのやり取りを通して、生命の大切さを感じ取っていました。

子どもたちは、とても素直に毎日を生きています。「楽しいな」「うれしいな」「がんばってよかったな」と感じる瞬間や、心が温くなる時間をたくさん積み重ねていくこと。それが、いつかどこかでつまずいたり転んだりした時にも、立ち上がれる心の強さやしなやかさにつながっていくのだと思います。

命を大切にすることとは、自分の毎日を思い切り楽しむということ。子どもたちがそんな日々を送れるよう、これからも共に見守っていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、5年生は9月30日から10月2日まで、自然教室を行います。今年度の5年生のめあては、「富士の自然の中で、仲間と協力し、自分で考えて行動する力をつけ、5年生の団結力を高めよう」です。こつこつと準備を進めてきた子どもたち。今年度は実施場所がハケ岳少年自然の家から富士緑の休暇村に変わり、活動内容にも多少変化がありますが、ねらいとするところは同じです。子どもたちが家族と離れ、友達と昼夜を共にし、学校では体験できない大自然の中での活動を通して、自立心や仲間と協力する大切さを学んでほしいと願っています。

また、10月31日には運動会を予定しており、これから本格的な練習が始まっていきます。毎日の練習の中には、上手くいかないこともあるかもしれませんが、小さな歩みを丁寧に積み重ねることこそが、子どもたちの粘り強さや仲間との絆を育てます。本番を終えたときに、心からの達成感と大きな自信を得られるよう、全校で励んでまいります。

学校は、あと10日ほどで前期終業式を迎えます。のびゆくすがたを一緒に見ながら、文章にはなっていないけれど、そこに確かにある日々の頑張りと努力、成長をたくさん褒めてあげてください。



校長室前のむかちゃん、いかちゃん、おかちゃんも秋仕様になりました。季節に合わせて折り紙がプロ級の近藤先生が作成し、子どもたちを楽しませてくれます。